

令和2年度（2020年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名		東大阪商工会議所
	代表者職・氏名		会頭 稲田 眞一
	所在地		〒577-0809 東大阪市永和2-1-1
	担当者	職・氏名	中小企業相談所 所長 弓場 秀樹
		連絡先	TEL（直通）： 06-6722-1151
Fax： 06-6725-3611			
		E-mail： yuba@hocci.or.jp	
①設立年月日		昭和12年12月28日	
②職員数 （うち経営指導員数）		33名（経営指導員22名）（令和3年3月31日現在）	
③所管地域		東大阪市	
④管内事業所数		22, 089（平成28年度経済センサス）	
⑤管内小規模事業者数		17, 402（平成28年度経済センサス）	
⑥会員数（組織率）		6, 107件（令和3年3月31日現在）（25.1%）	
		※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること	
<input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等）			
①商工会議所としての意見の公表、国会、行政庁等に具申・建議、行政庁等の諮問への答申 ②商工業に関する相談・指導、情報収集・提供、調査研究、講習会又は講演会の開催、施設の設置・維持・適用 ③地域新産業創出事業の推進 ④ビジネスチャンスの拡大と販路開拓事業の推進 ⑤創業支援と産学官交流事業の促進 ⑥人材確保と雇用対策事業の推進強化 ⑦街づくり推進への支援 ⑧商工業者との情報交換の促進事業 ⑨商工業者の円滑な事業承継への支援			

(1) 事業の目標
<p>地域産業の活性化に向け、モノづくり拠点として認知されてきたMOBIO（クリエイション・コア東大阪北館）において経営指導員が常駐する事で、モノづくり拠点地域としての強みを活かし、全国から寄せられるモノづくり相談に対応。全国からの高度な技術を要する下請けや共同開発などの相談を管内と府下の事業所へコーディネートする事により、管内をはじめ府内事業者の販路開拓を支援する他、MOBIOが主催する商談会などに積極的に参画し地域経済の活性化を図る。製造業では引き続き大阪市内で開催する展示商談会事業“テクノメッセ東大阪”や商圏拡大に向けた“広域連携ビジネスマッチング事業”など販路拡大に向けた事業を実施する。また、働き方改革に関連し女性の能力を活用すると共に活躍の場を広げるべく実施する“中堅・中小企業における女性の活用・戦力化支援事業”、就業体験を通じて中小企業の魅力を伝える“インターンシップ支援事業”、外国人労働者雇用を促す“グローバル人材確保支援事業”など新たな人材確保を支援する事業や先端技術を活用して生産性の効率を高める“中小企業省人・省力化推進事業”など人手不足を解消する事業等を実施する。商業・サービス業の支援に当たっては、インバウンド需要を取りこぼさないためにも、“キャッシュレス化の推進事業”を実施し管内事業者のキャッシュレス決済システムの導入を促す。また、衰退する商店街の活性化を図る“商い賑わい祭り事業”を実施し消費喚起を行っていく。更に新たな起業支援の一環として引き続き“創業塾運営事業”に取り組む他、BCP・BCMの普及促進を図り、企業経営の不足の事態に備える。最後に経営指導員が管内中小企業の資金繰りや販路拡大等の経営課題に対し、企業それぞれに合った伴走支援を行い、経営の改善、安定化を図っていく。</p>
(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点
<p>上記事業の目標を見据えてMOBIOでは、全国から寄せられるモノづくりに関する相談1,079件に対して、東大阪市内を中心に大阪府内の技術力のある事業所を紹介・斡旋することで府内製造業の販路拡大に努めた。また“テクノメッセ東大阪”では、新型コロナウイルス感染症リスクに配慮したWEB展示会を工業者のみならず商業者も対象に加え、新たな形の販路開拓に努めた。また、広域連携ビジネスマッチング事業では、東京・福井・京都の事業所と商談会を開催し、発注企業が多かったことで、ほとんどの事業所が商談の機会を持つことができ、販路開拓につながった。また、商業者向けに実施した“商い賑わい祭り事業”では、地域住民など消費者へ市内商店街の魅力やイベントをPRするため、広報媒体を通じて支援対象個店や商店街の集客に努め、且つ売上増加を支援した。最後に経営指導員の巡回・窓口による経営相談支援事業では、新型コロナウイルス感染症影響による資金繰り面へのサポートをする為の金融支援など直面する経営課題に対し、有効な支援を行った。</p>
(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況
<p>今回初めて行った“WEBテクノメッセ東大阪プラスワン2020”では、引合い件数は84件と少なかったがアクセス数は工業49,851件、商業31,722件を数えた。“商い賑わい祭り事業”では、「売上に対する貢献度」が目標を超える結果となった。人材確保を支援する事業として行った“女性の活用・戦力化支援事業”、“インターンシップ支援事業”、“グローバル人材確保支援事業”では、コロナ禍で雇用情勢が一変し、参加企業が目標が達しない事業が多い中、“インターンシップ支援事業”は、目標を大きく上回り、学生に地域製造業への就業の動機づけをすることができた。また、“BCP・BCMの普及促進事業”では、感染症対策の部分にフォーカスした効果もあり、支援企業数は目標を上回り、管内企業のBCP策定を促進した。地域活性化事業全体を通して、新型コロナウイルスの影響はあったものの満足度は比較的高かった。経営相談支援事業では新型コロナウイルス感染拡大の影響で資金繰りが悪化している事を受けた金融支援やコロナ禍での新たな事業展開を図る為支援した“事業計画書作成支援”、売上確保を支援する販路開拓支援が多く、売上増進や資金繰り面でのサポートにより課題解決に努め、満足度は高かった。</p>
(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題
<p>地域活性化事業全体を通して浮かび上がった課題として、大型展示会や合同企業説明会など、密を生む事業は、実施方法やその後の結果に感染症の影響が大きく作用する事である。とはいえ、人数を抑えて会場を広くして実施した事業は、満足度も比較的高く、対面式の事業の方が受け入れられていることがわかる。経営相談支援事業については、画一的な指導ではなく、各事業所に沿った支援内容や手法を効果的に講じ、当面の課題解決だけでなく先々の成長・安定に向けた支援を行うなど支援対象企業に寄り添って伴走支援することが求められる。</p>
(5) 次年度の取り組み
<p>経済環境の動向に注視しながら、小規模事業者・中小企業が抱える課題解決に向けた事業を展開していく。新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響を踏まえ、これまでも本所においては個者支援である経営相談支援事業を積極的に展開してきたが、これまで以上に各事業者が抱える課題に対応することが必要と考える。更に専門性の高い事案については、弁護士や税理士などの専門家派遣制度を活用して対応する地域活性化事業については、感染症の影響を見つつ、実施時期・場所・実施方法について検討し実施していく。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 東大阪商工会議所

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>経営指導員22名が管内中小事業者へ、個々が持つ経営課題に対して支援を行った。カルテ全体では921件ののぼり、今回、新型コロナウイルス感染症の影響による資金繰り面をサポートする為の金融支援が経営指導型・紹介型を合わせて605件ののぼった。また、コロナ禍に対応できる新たな事業計画の作成支援は195件あり、事業継続に向けた支援を行った。</p> <p>【金融支援】 M社は作業工具やシリンダー等建築金物の小売りを長年行っている。業歴は長く取引先からの信頼は厚い。今年度は新型コロナウイルスの影響から受注が減少し売り上げを落としているが、1社から大口の受注を得たため仕入資金を調達したいとの相談があり、現在の財務状況を精査し新型コロナウイルス対応マルケイ融資での資金調達を提案したところすすめることとなった。その結果、仕入資金を調達することができ、経営の安定につながった。</p> <p>【事業計画作成支援】 M社は金属加工業でゲームセンター向けの什器等を手掛けている。今般新型コロナウイルスの影響で売上は大きく落ち込んでおり、新たな販路を開拓するための事業計画書の作成支援を行った。結果、コロナ禍に対応した非対面型受注システムとオンライン販売サイトを構築する事業計画を作成することができた。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	903	921	102.0%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	3	2	66.7%	3	
金融支援（紹介型）	支援数	141	142	100.7%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	455	463	101.8%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	7	7	100.0%	5	
資金繰り計画作成支援	事業所	1	1	100.0%	5	
記帳支援	事業所	11	10	90.9%	4	
労務支援	支援数	13	13	100.0%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		0	
マーケティング力向上支援	事業所	0	0		0	
販路開拓支援	支援数	127	124	97.6%	4	
事業計画作成支援	支援数	187	195	104.3%	5	
創業支援	事業所	3	2	66.7%	4	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	1	1	100.0%	5	
コスト削減計画作成支援	事業所	0	0		0	
財務分析支援	事業所	0	0		0	
5S支援	事業所	5	10	200.0%	5	
IT化支援	事業所	1	1	100.0%	5	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		0	
事業承継支援	事業所	0	0		0	
災害時対応支援	事業所	0	0		0	
フォローアップ支援	事業所	0	0		0	
結果報告	事業所	903	921	102.0%	5	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>本年度については、法務に関する相談が多く、事業所内の取引契約に関する相談が多かった。労務については、雇用契約や雇用調整助成金に関する相談事案が多かった。倒産防止支援については、売上及び収益性が安定しない上、債務超過で資金繰りが悪化していた案件に対して、収益性向上の方策を検討し、併せて経費や経営計画について専門家による支援を行った。専門家による高度な相談支援については、相談に対する明確な対処方法や指導を実施し、相談者が、その対応を図る事で、課題解決が図れている。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	継続	相談件数	15	25	166.7%	5
税務相談	継続	相談件数	2	2	100.0%	5
労務相談	継続	相談件数	10	18	180.0%	5
その他相談	継続	相談件数	7	11	157.1%	5
倒産防止	継続	相談件数	1	1	100.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>緊急事態宣言により開催時期を大幅に変更した人材確保事業は、雇用情勢が一変し、支援企業数が計画に届かない事業が5つのうち4つと多かったが、満足度は比較的高く、管内中小企業・小規模事業者の雇用確保の支援に繋がった。製造事業者支援については、WEBテクノメッセや広域連携ビジネスマッチング事業を実施し、WEBでは引合い件数が目標に対して少なかったものの、アクセス数は多く、管内製造業者の認知度を向上させ、広域連携ビジネスマッチング事業では、商談成立が目標値を大幅に上回った。事業者支援については、これもWEBテクノメッセに掲載した他、高い賑わい祭り事業を実施し、販路拡大の促進を図った。</p> <p>この他、大阪東部地区6商工会議所が連携して実施した“売りメッセ取引商談会in東大阪”は、開催時期を3ヵ月ずらして実施し、商談成立が4件あった。また、“BCP・BCMの普及促進事業”では、感染症対策にフォーカスをあて実施したことによりBCP策定を促進した。</p> <p>全国的に問題視されている中小企業・小規模事業者の事業承継問題に対しては、継続して八尾商工会議所・松原商工会議所と連携し事業承継に関するセミナーを各市域毎に実施することで事業承継に関する取り組みを促進した。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	広域連携ビジネスマッチング事業	30	27	90.0%	94.1	商談成立	2	4	200.0%	5
	テクノメッセ東大阪事業	200	205	102.5%	61.1	商談件数及び引合い件数	2680	84	3.1%	1
	高い賑わい祭り事業	32	35	109.4%	85.7	売上向上に対する貢献度	70.0%	77.9%	111.3%	5
	インターンシップ支援事業	115	116	100.9%	83.4	学生受入による本事業の企業への貢献度	70.0%	100.0%	142.9%	5
	熟練技能者育成支援事業	80	86	107.5%	74.1	セミナーの習熟度	70.0%	74.1%	105.9%	5
	事業計画書作成支援事業	35	31	88.6%	76	事業計画策定に取り組む事業者	60.0%	96.2%	160.3%	5
	創業塾運営事業	80	51	63.8%	91.4	創業準備に取り組む者	10	14	140.0%	5
	中堅・中小企業における女性の活用・戦力化支援事業	70	32	45.7%	76.9	面談数	150	102	68.0%	4
	グローバル人材確保・定着支援事業	80	57	71.3%	83.5	外国人留学生採用への取組を進める企業	60.0%	60.0%	100.0%	5
	求人・求職マッチング事業	180	167	92.8%	69.5	面談実施数(合同企業説明会)	500	500	100.0%	5
	クラウド・ファンディング活用促進事業	22	25	111.4%	91.1	クラウドファンディングなど新たな資金調達の利用を検討する企業割合	70.0%	84.0%	120.0%	5
	BCP・BCMの普及促進事業	20	22	110.0%	81.7	簡易版BCP「これだけは！」シート等のBCP作成企業数	20	22	110.0%	5
	ものづくり支援拠点(MOBIO)連携推進事業	400	1,079	269.8%	94.8	引合い斡旋件数	500	1079	215.8%	5
	知財活動支援事業	32	23	71.9%	85	MOBIO知財サポートチーム及びINPIITと連携しハンズオン支援する企業数	2	2	100.0%	5
	経営革新の支援事業	30	35.5	118.3%	89.8	経営革新計画承認に向けた取組を検討する企業数	10	11	110.0%	5
	人材ニーズ対応プラットフォーム事業	25	16	64.0%	81.7	(一社)大阪産業局との連携により人材を確保する企業	2	5	250.0%	5
	技術専門学校を活用した中小企業従業員等の技術向上事業	30	32.0	106.7%	89.7	製造現場での基礎知識を活用できると感じた事業所数	5	14	280.0%	5
	中小企業に対する高齢者雇用サポート事業	25	17	68.0%	87.1	高齢者雇用を推進しようとする企業の割合	70.0%	88.0%	125.7%	5
	(地独)大阪産業技術研究所(ORIST)連携事業	20	19	95.0%	79.2	今後、ORISTを活用しようとする企業	10	19	190.0%	5
	キャッシュレス化の推進事業	28	25	89.3%	96.4	キャッシュレス決済システム導入に取り組む企業割合	60.0%	29.1%	48.5%	3
(2) 広域事業(幹事事業のみ)										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	技能検定の活用促進事業	25	15	60.0%	82.5	ものづくりマイスター制度の活用割合	50.0%	81.3%	162.6%	5
	事業承継支援ネットワーク事業	70	56	80.0%	90	事業承継の準備に取り組む事業者数	20	19	95.0%	5
	売りメッセ取引商談会in東大阪事業	150	112	74.7%	88.1	商談件数	450	321	71.3%	4

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調査の記載と合わせてください。

令和2年度（2020年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

商工会・商工会議所（選択してください）

事業名		広域連携ビジネスマッチング事業								
想定する実施期間		2008 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	市域製造業と他都市の製造業が商談・交流をすることにより、受発注の販路開拓・共同開発や情報交換に繋げ市域内企業の活性化を図る。また、府外の他商工会議所等との連携により、事業規模拡大に繋げ相乗効果を図り、取引マッチングの獲得を目指す。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内域製造業者 5,954社 *平成28年経済センサス活動調査結果より								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	2020年10月9日 10時～17時 「ザ・商談!し・ご・と発掘市」 東京都立産業貿易センター浜松町館 参加企業数全体 179社(東大阪 6社) 商談件数 482件(東大阪 27件)								
		2020年11月24日～12月4日 「ふくいオンラインビジネス商談会」 オンライン商談会 参加企業数全体 192社(東大阪 4社) 商談件数 340件(東大阪 9件)								
		2021年2月3日 10時～12時 「東大阪・京都 中小企業交流会」 参加企業数全体 22社(東大阪 7社) 商談件数 30件(東大阪 18件)								
		2021年3月12日 10時～17時 「ザ・商談!し・ご・と発掘市」 東京都立産業貿易センター浜松町館 参加企業数全体 175社(東大阪 10社) 商談件数 546件(東大阪 31件)								
<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>										
	①府施策連携									
	②広域連携									
	③市町村連携									
	④相談相乗	発注事業所のマッチングは商談会終了後も引き続き、個別で提案をしている。受注事業所においては、商談会や展示会情報の提供を行っている。双方の販路拡大に繋がるよう支援している。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	27.0	支援実績率	90.0%	満足度	94.1	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今年度は、東京商工会議所が中心となり36商工会議所で開催する「ザ・商談!し・ご・と発掘市」は10月と翌年3月に開催、16社。11月には福井商工会議所が中心となり北陸・関東・中部・関西の商工会議所が参加する「ふくいオンライン商談会」は4社の参加となった。翌年の2月に京都・北大阪エリアの事業所と商談会を開催し、管内8社の事業所が参加した。いずれの商談会も発注企業が多かったことで、ほとんどの事業所が商談の機会をもつことができ、多い事業所では9件の商談と、大変喜ばれた。出会ってすぐに、成果を出す事が難しい中、4件の商談が既に結び付いたと報告を受けた。一方、商談成立見込みが無いとされる案件もあったが、参加した多くの企業が今後も情報交換や次年度の参加表明をされるなど、前向きな企業が多くみられた。								
		代表指標	商談成立							
		数値目標	2	実績数値	4	目標達成度	200.0%			
	成果の代表事例	東京の商談会に3月に参加し、6社と商談を交わしたが、内2社との商談が成立し、現在、試作段階にある。 東大阪のモノづくり技術を買われ、金額こそ大きくはないが、東京の企業と10月より開始し								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	コロナ禍でも、参加企業数の目標を達成した。次年度も継続して成功するためには、発注企業の掘り起こしをすることが課題である。新型コロナウイルス感染症拡大する中、中小企業にとっては営業活動ができない状況にもあり、1社でも1件でも多く商談機会が訪れるよう創意工夫してまいりたい。								

東大阪商工会議所

事業名		テクノメッセ東大阪								
想定する実施期間		1987 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症による経済低迷から商工業者への支援が注目されているが、展示会では来場者等の安全確保のため、人が密集するイベントは実施方法が制限されている。今般、これらに対応するため、感染リスクに配慮したWeb展示会「Webテクノメッセ東大阪プラスワン2020」を開催する。これまで工業者を対象とした本事業であったが、今回は特に新型コロナウイルス感染症の影響が著しい商業者を対象に加え、“いつでも・どこでも・誰とでも”繋がることで商工業者の販路拡大を目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内製造業者 42,680社 市内小売業・飲食業 5,775社 *平成28年経済センサス基礎調査結果より								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	名称：第33回東大阪産業展「Webテクノメッセ東大阪プラスワン2020」 会期：工業編2020年11月24日～2021年2月28日 商業編2020年11月24日～2021年1月31日 会場：第33回東大阪産業展「Webテクノメッセ東大阪プラスワン2020」ホームページ 内容：東大阪市域製造業をはじめとする工業、飲食業をはじめとする商業を支援対象企業として、出展（店）企業の販路拡大に寄与することを目的とした特設サイトを立ち上げ、会社（店舗）概要や製品・技術、商品、サービスを紹介する。また、各出展（店）者のPR動画をサイト内で放映し、自社（店）がイチオシする製品、技術、商品・サービスなどをアピールする。								
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
②広域連携										
③市町村連携	本所は事業の企画・運営を担い、市役所は事業に対して補助金を交付。事業の連携については、市の広報（市政だより）で事業のPRに対して側面的に協力を得る。また、実行委員会を組織し、市担当者が委員として参画する。									
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	200	総支援企業数(実績)	205.0	支援実績率	102.5%	満足度	61.1	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のオンライン展示会において東大阪市域製造業をはじめとする工業155社と、飲食店等をはじめとする商業50店舗が出展（店）し、会社（店舗）概要や製品・技術、商品、サービスの紹介と併せて、PR動画を作成し、サイト内で放映することで自社（店）がイチオシする製品、技術、商品・サービスなどをアピールできた。 引合い件数は84件であったが、初めてのオンライン開催でアクセス数は工業49,851件、商業31,722件を数え、新聞折り込みのチラシやリスティング広告で大阪府域から全国にPRできたと考える。								
		代表指標	商談件数及び引き合い件数							
		数値目標	2,680	実績数値	84	目標達成度	3.1%			
	成果の代表事例	本事業を通して航空機部品製造業者が25件の商談依頼があり、結果108万円の受注を受けた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)					
							目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	出展（店）企業アンケートよりオンライン展示会では商談や引き合いに繋がりにくいとの意見があり、指標に掲げた商談件数及び引き合い件数の目標を大きく下回った。この結果を受けて、来年度は感染対策を十分に行ったうえでのリアル展示会開催を計画し、商談及び引き合いに繋がりがやすい展示会を実施したいと考える。但し、引き続きオンライン開催での希望も一定数あり、リアル展示会での開催をベースにWeb上でのPRも積極的に行って相乗効果を発揮したい。								

令和2年度（2020年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

商工会・商工会議所（選択してください）

事業名		商い賑わい祭り事業							
想定する実施期間		2015 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	市内小売商業者においては、消費税引き上げに伴い消費者の低価格指向・節約志向は更に強まり、インターネット販売の普及も相まって、依然として厳しい状況が続いている。しかし、駅周辺に位置し利便性の高い商店街ならびに個店は、地域のコミュニティ活動の場などとして地域住民から重要な役割を期待されている。よって、商店街の魅力を発信して地域商業を活性化することを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	東大阪市内の47商店街、1市場							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業：市内商店街や市場を対象に、集客を目的に実施される歳末イベントや商店街の概要、特徴などを集約し情報を発信する。また、歳末イベントを開催する商店街・市場からの要請で本所職員を派遣し、歳末イベント協力とPR補助を行った。 開催日：2020年11月28日（土）新聞折込日、12月2日（水）金岡商店会・19日（土）一条通り商店会・20日（日）徳庵商連会の歳末イベントに職員を派遣 参加数：35商店街・市場（イベント派遣：3商店街） 内容：チラシを作成し、東大阪市内100,000世帯に新聞折込（朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、読売新聞）にて配布、PRした。 チラシ発行部数：102,000部（うち東大阪市内を中心に新聞折込数100,000部）							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携									
④相談相乗	既カルテ化事業所の地域活性化事業への促進								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	32.0	総支援企業数(実績)	35.0	支援実績率	109.4%	満足度	85.7
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	各商店街・市場の集客につながる歳末イベント情報などを掲載したチラシを作成し、東大阪市内を中心に100,000世帯に新聞折込で配布する事により、商店街や市場の魅力を伝え、イベントをPRすると共に集客や認知度を向上させることが出来た。 フォローアンケートによると、今回参加した効果について「商店街・市場のPRにより今後の集客に繋がる」（50.0%）と回答した割合が最も高く、続いて「商店街・市場のイベントへの集客・来街者増に繋がった」（47.2%）となっている。また、歳末イベントへの職員派遣については、商店街役員の方より、職員がサンタクロースに扮しガラガラ抽選会やチラシ配布などの補助を行うことで歳末イベントの賑やかさおよび個店への集客に繋がったとの回答を得た。							
		代表指標	売上に対する貢献度						
		数値目標	70%	実績数値	77.9%	目標達成度	111.3%		
	成果の代表事例	コロナ禍で厳しい状況であるが、商店街が行う歳末イベントPRにより家族連れの来街者が増加するなど集客に繋がった。（長瀬駅前商店街）							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本年度は6商店街が初めて本事業に参加した。 新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たず、次年度も商店街のイベント中止や3密を回避しながらのイベント開催などが予想され集客が難しい状況であるが、商店街の魅力やイベントをPRすることで市内商店街全体の商業活性化を目指す。また、本所ホームページにチラシデータを掲載するなどWebを活用し東大阪市内だけでなく広域にPRすることで、商店街や市場への来訪者の確保につなげ地域商業の活性化を図る。							

東大阪商工会議所

事業名		インターンシップ支援事業								
想定する実施期間		2014 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	インターン生がものづくり企業で職場体験を積むことで、将来の産業界を支える人材育成に寄与するとともに、大学等と地域企業の連携を深めることを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業者5,954社 ※平成28年経済センサス活動調査結果より								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	インターンシップ受入企業を発掘。受入条件やカリキュラム等をガイドブックとして取りまとめ、インターン生派遣を希望する大学・高専・工科高校のキャリアセンター等に情報提供し、学生の就業体験の機会を創出する。 2020年 4月・・・受入企業募集 2020年 5月・・・受入企業ガイドブックを作成 2020年 7月・・・受入企業ガイドブックを参加大学・受入企業へ発送 事業実施(大学・企業間でインターンシップの実施交渉) 2020年 7月～12月・・・受入企業でインターンシップを実施 2020年12月・・・インターンシップ実習報告・アンケート回収、集計								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
		②広域連携								
③市町村連携	本所は事業の企画・運営を担い、市は事業への補助金交付による支援を行う。									
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	115.0	総支援企業数(実績)	116.0	支援実績率	100.9%	満足度	83.4	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	インターンシップ受入企業は、目標件数115社に対し、116社が参加し、満足度を確認したところ、83.4%となった。また、インターン生の受入を実施した企業は7社で、全ての企業が学生の受入による貢献があったとの回答を得た。今後も職場体験の機会を促進するため、受入企業の増強を図る。								
		代表指標	学生受入による本事業の企業への貢献度							
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%			
	成果の代表事例	参加学生については、市域モノづくり企業で就業体験をすることによって、実践的能力を身に付け、モノづくり企業への理解を深めることで、地域製造業への就業の動機付けをする機会となった。受入企業については、会社イメージの向上にも繋がった。 以下は受入企業のコメント 【M社】 はじめは戸惑っていましたが、すぐにその場になじみ、真面目に作業をこなしてくれました。3日間という短い期間でしたが、一生懸命やってくれたと思います。休み時間には、当社従業員とも話をするなど貴重な存在となりました。この仕事を通じ、電気の仕事に興味を持ってくればと思います。								
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	近年、インターンシップ事業への関心が高まっており、受入希望企業数も増加している。そこで受入企業ガイドブックをより見やすく・分かりやすくし、各企業の魅力が多くの学生に伝わる様工夫し、更なるマッチング支援に繋げる。								

令和2年度（2020年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

東大阪商工会議所

事業名		熟練技能者育成事業								
想定する実施期間		2014 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地域製造業の持続的発展を図るため、基盤技術や熟練技能の円滑なる承継、また生産現場を統括するリーダーの育成は必要不可欠であることから、技能、現場管理の両面から人材を育成する事を目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内製造事業者 5,954社 *平成28年経済センサス活動調査により								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	切削加工技術力向上のための部品加工図面の読み方・描き方セミナー（2020年9月3日開催）参加企業32社53名 生産現場リーダー能力開発研修（2020年10月28日開催）参加企業44社57名 生産現場における管理監督者の資質向上により技能者育成の円滑化を図る講座「生産現場リーダー能力開発研修」と、切削加工技術の基礎となる部品加工図面の読み方、見方、描き方を学び作業の平準化による技能継承を図る講座「切削加工技術力向上のための部品加工図面の読み方・描き方セミナー」をNPO「地域基盤技術継承プラザ」と連携し開催した。								
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
②広域連携										
③市町村連携	(c)：本所は事業の企画・運営を担い、市は事業への補助金交付による支援を行う。連携については、市の広報（市政だより等）で事業のPRのみの側面協力を行い、事業については全て会議所が主体となり、NPO「地域基盤技術継承プラザ」と連携し、非会員事業者への周知も行う。									
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	80.0	総支援企業数(実績)	86.0	支援実績率	107.5%	満足度	74.1	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	各講習会の評価（満足度）は次の通りである。								
		代表指標	セミナーの習熟度							
		数値目標	70%	実績数値	74.1%	目標達成度	105.9%			
	成果の代表事例	切削加工技術力向上のための部品加工図面の読み方・描き方セミナーは37名が「図面を読む手法を学ぶ事ができた」、22名が「図面を描く手法を学ぶ事ができた」と回答。生産現場リーダー能力開発研修では「今後、自分がリーダー、指導者の立場にならなければならない事を改めて感じた」、「今回2回目の参加だが、改めて勉強になった」などの意見があった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度	

実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	申込み人数を見るに、両セミナーともニーズは高いと考えられる。一方で、切削加工セミナーは「もう少し進め方の指示（どのように描けばよいかなど）が欲しかった」「講師がマイクではなく生声で話すことが多く、聞き取りづらい時があった」といったコメントがあり、満足度向上につながらなかった。 アンケート結果を鑑みて次回の開催方法を検討する。 尚、両セミナーの需要は高いため、引き続き類似のテーマで実施するが、開催方法などを再検討するなど事業のブラッシュアップを図る。
------	--	--

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	38.0	支援実績率	95.0%	満足度	76.3	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	受講の効果としてはアンケートで「図面を読む手法を学ぶ事ができた」と回答した者が最も多く、次に「図面を描く手法を学ぶ事ができた」と回答した者が多かった。								
		指標	セミナーの習熟度							
	数値目標	70%	実績数値	76.3%	目標達成度	109.0%				
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	48.0	支援実績率	120.0%	満足度	72.5	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	受講の効果としてはアンケートで「リーダーとしての心構えができた」と回答した者が最も多く、次に「現場管理のノウハウを学ぶ事ができた」と回答した者が多かった。								
		指標	セミナーの習熟度							
	数値目標	70%	実績数値	72.5%	目標達成度	103.6%				
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					

東大阪商工会議所

事業名

事業計画作成支援事業

想定する実施期間

2020 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の目的
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

近年、めまぐるしく変化する経済環境において企業活動を行うには、常に先々を見据えた事業計画を策定し企業の経済環境の変化に対応していく必要がある。しかしながら、中小企業とりわけ小規模事業者においては、事業計画策定するための人材、ノウハウが欠如している。そこで、事業計画を策定するにあたっての基本事項、計画期間の決定方法などのノウハウについて解説するセミナーを実施し中小企業・小規模事業者の事業計画策定を推進し持続的発展に寄与する。

支援する対象
(業種・事業所数等)

大阪府内全産業422,568社
平成28年経済センサス活動調査より

事業の概要

実施時期・具体的な内容及び事業手法

【事業計画書策定セミナーの実施】
日程：2021年3月19日
場所：東大阪商工会議所 本所本館 4階大会議室1
対象：大阪府全域の中小企業・小規模事業者（主に東大阪市内の事業所）
内容：1. 事業計画策定の必要性
2. 事業計画策定のメリット
3. 事業計画書の策定方法
4. 各種補助金申請の際の事業計画書策定のポイント
参加事業所数：26社

【ハンズオン支援】

Y社：近鉄奈良線布施駅北側にある商店街内にて飲食店を営んでいる。昨年より拡大している新型コロナウイルス感染症の影響で客足が遠のき、急激に業績が悪化している。コロナ収束の見通しが立たず、このままでは事業の継続が困難な状況にある。そこで、改めて事業計画を見直し、新たにECサイトを立ち上げ、店内で提供している料理を消費者に宅配するサービスを展開する新たな事業計画の策定支援を行った。

S社：本市において50年以上製造業を営む企業で現代表で2代目となる。業種は金属部品のプレス加工、組立てを行っており、主に産業機器部品、家電製品、医療機器部品を取り扱っている。こうした事業を今日まで続けてきたが、産業のグローバル化の中、労働力の安価な海外へ仕事の流れ始め、受注が減少してきている。こうした状況を受けて改めて事業計画を見直し、今迄請け負っていない新たな市場として自動車業界に対してアプローチすべく、ターゲットDMとスマホ対応のWEBサイトを立ち上げる新たな事業計画の策定支援を行った。

K社：本市において70年以上続く老舗企業で主にキャラクター雑貨、文具、ランチグッズ等をOEMで製造している。長い変遷の中、消費構造やニーズの多様化により、主力事業だけでは生き残りが出来ず、これまで様々な事業展開を行ってきた。その一つが育児をするお父さん（育メンパパ）向けの商品として開発した子供を抱っこできるカバンの開発で本所も事業計画に関与した。今回、改めてお母さんが抱っこできるカバンの開発を計画、ブランディングからEC立ち上げまでの一貫した事業計画策定について支援を行った。

A社：2008年に個人事業として美装事業を立ち上げ、以降、害虫駆除等も手掛けるようになった。昨年に法人成りし、顧客も徐々に増加傾向にあった。しかし昨年以降新型コロナウイルス感染拡大の影響で受注が減少し、業績が悪化傾向にある。こうした状況の中、新たな事業として自社のサービスをフォトフレームを活用した動画配信サービスを行う新たな事業計画を掲げ、本所も同事業計画策定支援を行った。同事業は、主に不動産会社に設置してもらう仕組みで、新たに入居される一般の方向けに広報しようとする仕組みである。

K社：当社は、プールや浴槽、貯水槽等のろ過装置設置工事を生業としている。これまで施設管理者や水処理業者からの受注により順調に経営を行ってきたが、昨年以降、新型コロナウイルス感染拡大を受けて受注が低迷し、新たな事業展開を行っていく必要に迫られた。そこで今回、新たにWEBサイトを立ち上げインターネットを介して見積りや調査ができる仕組みを構築し、出来るだけ非対面で業務を進める事業計画の策定支援を行った。

<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>

- ①府施策連携
- ②広域連携
- ③市町村連携
- ④相談相乗

事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	35.0	総支援企業数(実績)	31.0	支援実績率	88.6%	満足度	76%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	【人材育成】 今回、事業計画策定に関するセミナーを実施したところ、支援企業計画数には若干届かなかったものの、セミナー参加者の満足度は76%を超えていた。これは、管内中小企業・小規模事業者が新型コロナウイルスの蔓延に伴い、事業計画書の策定を行うことで、将来を見据えた従来の事業の見直しやコストの削減を考えることでコロナ禍での困難な状況を乗り切りたいと考えていることが伺える。しかしながら、現在のコロナ禍では、早急に事業計画書の策定に取り組むことが困難であることも浮き彫りとなったと思われる。							
		【ハンズオン支援】 今回、5社の法人について事業計画策定支援を行った。前述のとおり、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて既存事業の見直しを迫られるケースや市場動向の変化に対応するために新たな事業計画を掲げるケースが見受けられ、それぞれ時世にあった事業計画の策定、見直しを行った。同事業計画は支援対象企業と進めたもので、満足度も高く、事業継続、活性化に向けた経営革新が図れた。							
		代表指標	事業計画策定に取り組む事業者						
	数値目標	60%	実績数値	96.2%	目標達成度	160.3%			
成果の代表事例	セミナー参加者アンケートから「事業計画書を策定する際に参考になった」「コロナ対策の補助金等の講座があれば、また参加させて顶きたい」など前向きな回答が寄せられた。またハンズオン支援では、同事業計画に基づいた補助金制度も活用できた。								
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	今回セミナーでの満足度については、参加者の中で事業計画書の策定メリットや必要性などではなく、事業計画書自体の作成の仕方について求める意見が多かったためだと考える。これは、事業計画書自体を作成したことがない参加者が多いことが要因と思われる。今後、実施する際にはそのあたりを見極め、より事業計画書策定の実践的なセミナーの実施を検討する。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	26	支援実績率	86.7%	満足度	76.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	事業計画書策定セミナーを実施した。事業計画書の策定方法やメリットを学ぶことで、将来を見据えた事業展開やコストの削減を図ることができる。							
		指標	事業計画策定に取り組む事業者						
その他目標値の実績	数値目標	60%	実績数値	96.2%	目標達成度	160.3%			
	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	5	支援企業数(実績)	5	支援実績率	100.0%	満足度	100.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回、5社の法人について事業計画策定支援を行った。課題の掘り起こしから新たな事業展開に係る提案を行い、補助金の申請まで一貫した支援を行った。							
		指標	事業計画の策定支援						
その他目標値の実績	数値目標	60%	実績数値	100%	目標達成度	166.7%			
	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				

令和2年度（2020年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

東大阪商工会議所

事業名 創業塾運営事業

想定する実施期間 2004 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の概要

事業の目的
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

事業所統計調査（経済センサス）からも分かる様に東大阪市内事業所数は、2009年以降減少の一途を辿っている。このような中、府内での創業を活性化すべく、国の産業競争力強化法に基づき創業支援等事業計画を市が策定、各支援機関で創業関連事業を実施してきた。本所で実施する創業塾を特定創業支援等事業と位置付け特に強化し、実施してきた経緯があり、創業支援等事業計画が延長される見通しを受け、2020年度も引き続き同事業を実施し、潜在的創業者の掘り起こしから創業前支援・創業後の後押しを行うことで、府内及び市域産業の活性化を図る。

支援する対象
(業種・事業所数等)

創業塾：創業予定の方、創業間もない方等を対象（全業種）

実施時期・具体的な内容及び事業手法

一般向け：2020年11月1日（日）、7日（土）、14日（土）、21日（土）
(参加者数：19人)
女性向け：2021年2月6日（土）、13日（土）、20日（土）、27日（土）
(参加者数：32人)
各日10:00～15:00
メイン講師によるビジネスプラン作成の為の講義をスクール形式で行った。数値計画や収支計画等の具体的な数字を入れながら、作成したビジネスプランの発表を最終日に行った。
また、税務・労務・金融・販促等の専門家をスポット講師に招き、より深い講義を行い、創業時に必要とされる知識の習得を図った。

<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>

①府施策連携 商13 商業・サービス産業課新事業創造グループと連携し創業セミナーの実施やセミナー参加者に対しスタートアップ事業への応募を呼び掛けた。

②広域連携

③市町村連携 創業支援事業計画の「特定創業支援等事業」として連携しており、市の広報（市政だより）などの事業PRに協力を頂いている。

④相談相乗

計画に対する実績（数値）

総支援企業数(計画)	80	総支援企業数(実績)	51	支援実績率	63.8%	満足度	91.4
------------	----	------------	----	-------	-------	-----	------

目標の達成度
(支援企業をどう変化させることができたか)

1回目は、一般向け創業塾として開催し、女性36.8%、男性63.2%と男性の参加者数が多かったが、2回目の女性向け創業塾は女性84.4%、男性15.6%と女性参加者数が大半を占めた結果であった。1回目、2回目を通して全体的に年齢層は45歳前後であり、また主婦の方や定年後の起業希望者が多いように感じた。特定創業支援等事業の特典効果により、4日間受講される方が2回合わせて36名と多く見受けられた。講義の難易度は極端に「簡単だった」「難しかった」という偏りもなく、バランスの良い講義内容であった。創業塾満足度アンケートに対しては、9割以上の受講者が創業意欲が満足であったと回答しており、効果的な事業であった。

代表指標	創業準備に取り掛かる者					
数値目標	10名	実績数値	14名	目標達成度	140%	

成果の代表事例

創業塾に参加されたH氏はこれまでの経験や取得資格を活かし、小規模の事業者に対しIT導入サポートする会社を営みたいと考え、自身で具体的な創業プランを立て、本セミナーに参加された。創業塾に4日間参加することで、自信が立てていた資金繰り化計画が甘かったことに気づいた。4日目の価格決定や売上計画の立て方等財務について学ぶことで具体的な数字や創業後のプランについて理解が深まった。また最終日にビジネスプランについて、講師からアドバイスをもらうことと、弊所経営指導員からアドバイスをもらうことで、より堅実な創業計画を作成することができた。

その他目標値の実績

目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	
---------	--	---------	--	-------	--

実施結果

課題及び次期以降への取組み
(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)

セミナー後に質疑応答時間を設けることで参加者の創業に対する疑問解消を目指す他、課題として上げるのは参加者の確保数である。今年度は当初5月に開催を予定していた1回目の一般向け創業塾が、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令の影響で中止になり、11月に延期になった。そのため、11月開催分について、広報費が足りず十分なPRができなかったため、参加者数が定員の半分以下であった。しかし2回目の女性向けは、例年通りのPRを行ったことで参加者数は、定員の9割に達した。1回目の参加者数が足りなかったこともあり、全体での達成率は63.8%であった。コロナウイルス感染症がいつ終息するか不明のため、来年度は定員数を少なくし、会場内の密を防いだレイアウトにすることで、安心して参加できる体制を整える。さらにチラシ折込で募集するほか、創業相談で来所される方にも積極的に案内を強化することで参加者の集客数につなげる。

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40	支援企業数(実績)	19	支援実績率	47.5%	満足度	95.8
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	当初5月に開催を予定していた一般向け創業塾が、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令の影響で中止になり11月に延期になった。5月開催へ向け広報費が執行済みであり、11月開催時には十分なPRができなかったため、参加者数が定員の半分以下であったが、参加者アンケート結果によると「満足」84.6%、「やや満足」15.4%と高い満足度を得たこともあり、今回の参加者から4名が創業に取り掛かる。							
		指標	創業準備に取り掛かる者						
		数値目標	5	実績数値	4	目標達成度	80.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40	支援企業数(実績)	32.0	支援実績率	80.0%	満足度	87.5
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	コロナ禍での開催であったため、目標の参加人数には至らなかったがPRを十分に行えたことで一定の参加者数の確保ができ、今回の参加者から10名が創業に取り掛かる。参加者アンケート結果では「満足」64.5%、「やや満足」22.6%と高い満足度を得た。							
		指標	創業準備に取り掛かる者						
		数値目標	5	実績数値	10	目標達成度	200.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

東大阪商工会議所

事業名 中堅・中小企業における女性の活用・戦力化支援事業

想定する実施期間 2019 年度～ 2020 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の目的
(現状や課題をどのような状態にしたいか)
人手不足により、中小企業の雇用状況は未だ充足には程遠い。そこで、中小企業に女性労働者を活用するポイントや有用性、女性活用によって成功している企業の事例紹介等のセミナーを通して、労働力確保の一助とする。また、合同企業説明会を開催し、中小企業と女性労働者とのマッチングを図り、人手不足の解消を図る。

支援する対象
(業種・事業所数等)
府下全業種の事業所を対象 事業所数422, 568社
※平成28年経済センサス基礎調査結果より

事業の概要

実施時期・具体的な内容及び事業手法

- 雇用対策セミナー「女性・シニア活用のために取り組むべきこと」
日 時：2021年1月22日(金)
内 容：第1部「重要性を増すダイバーシティ経営の潮流と対応策」
講師：近畿大学 経営学部 教授
第2部「市域企業の女性&シニア活用取組事例」
事例1：「女性が輝ける職場環境づくり」
E社 代表取締役
事例2：「社員が辞めるといふまで仕事ができる体制づくり」
M社 代表取締役会長
第3部「多様な人材活用に伴う助成金制度の紹介」
講師：大阪労働局 助成金センター課長補佐
会 場：東大阪商工会議所
実 績：19社、35名
- 合同企業説明会「東大阪就職フェスタ」
日 時：2020年10月14日(水)
会 場：東大阪商工会議所
実 績：参加企業13社、来場者57名

<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>

①府施策連携	大阪府施策連携労6番 中堅・中小企業における女性の活用・戦略化支援事業 大阪府商工労働部雇用推進室就業促進課やOSAKAしごとフィールドと連携して実施する。事業実施に対してハローワークと連携し、女性(マザーズ)等の雇用面接会を行う
②広域連携	
③市町村連携	市より事業への補助金を交付
④相談相乗	

計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	70.0	総支援企業数(実績)	32.0	支援実績率	45.7%	満足度	76.9
--------------	------------	------	------------	------	-------	-------	-----	------

目標の達成度
(支援企業をどう変化させることができたか)
(目標設定) セミナー 50社 合同企業説明会 20社・来場者100名
(実績) セミナー 19社(内4社が複数参加) 合同企業説明会 11社・来場者57名
セミナー・合同企業説明会共に支援目標企業数を下回ったが、参加企業は事業を通して女性が活躍する労働環境に対する知識の習得や女性人材を確保することができた。

代表指標	面談数				
数値目標	150	実績数値	102	目標達成度	68.0%

成果の代表事例
合同企業説明会参加企業において、求職者7名が面接まで進み、内2名が採用された。

その他目標値の実績	目標値(計画)	目標値(実績)	目標達成度

実施結果

課題及び次期以降への取組み
(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)
セミナー・合同企業説明会ともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、感染リスクが高まりつつあった状況と景気低迷を受けて、企業が人材確保に対して消極的な姿勢を取ったことが目標値を達成できなかった要因であると判断する。但し、企業の満足度としては70%超と高い満足度を得ている。
次年度以降も同様の状況が続くことが予想されるが、市域中小企業において未だ多くが人手不足で悩んでおり、特に女性人材の活用、働きやすい環境・制度づくりを課題とする。セミナーでは本所で実施する人材関連セミナーの受講者への周知や、合同企業説明会は需要の高い開催月に変更するなど変化を加えて支援企業数の増加を図りたい。

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	50.0	支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	42.0%	満足度	78.1
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを通して女性活用の有用性や積極的に女性活用する成功事例等の知識を得ることによって人材活用・確保の一助となる。							
		指標							
	その他目標値の実績	数値目標		実績数値		目標達成度			
目標値(計画)			目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	55.0%	満足度	74.5
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	主婦層をメインの対象とした合同企業説明会を開催し、57名の求職者が来場し、102件の面談が行われた。面談数の目標は下回ったが、参加企業6社において8名の求職者が内定となった。							
		指標	面談数						
	その他目標値の実績	数値目標	150	実績数値	102	目標達成度	68.0%		
目標値(計画)		100	目標値(実績)	57	目標達成度	57.0%			
		昨年実績をもとに目標来場者数を設定したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により目標としていた来場者数を大幅に下回った。							

令和2年度（2020年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

商工会・商工会議所（選択してください）

事業名		グローバル人材確保・定着支援事業							
想定する実施期間		2018 年度～ 2020 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	人手不足解消や海外展開を目的に、外国人雇用を検討している企業は増えている。しかし、法律改定によるビザの要件変更などもありスムーズに外国人材を雇用できるかは不透明である。そこで、外国人留学生の採用についてのセミナーを開催し、外国人雇用についての知識を深めると共に、外国人留学生向けの合同企業説明会を開催し、雇用状況の改善につなげる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下全業種の事業所を対象 事業所数392,940社 ※平成28年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業：「新たな受入制度による外国人材雇用のススメ」 開催日：2020年10月29日（木）14:00～16:00 会場：東大阪商工会議所 本館4階大会議室1 企業数：42社（44名）、行政等：4名 内容：セミナー 1) 在留資格“特定技能”と、新型コロナウイルス感染症の影響により実習が継続困難となった技能実習生等に対する特定技能制度14分野における雇用維持支援について 講師：法務省大阪出入国在留管理局 就労審査部門 統括審査官 2) 外国人留学生の就職活動と課題 ～採用後の留学生の活かし方、就労可能な在留資格変更へのポイント～							
		事業：「外国人留学生のための合同企業説明会・業界研究会」							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	府施策連携：労-2 中小企業のための「外国人留学生」採用・定着支援事業実施に対して就業促進課企業支援グループと連携し外国人留学生等の雇用概要説明及び合同企業説明会を行なった。						
②広域連携									
③市町村連携	事業への補助金交付。市役所の広報協力を得た。								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	80	総支援企業数(実績)	57	支援実績率	71.3%	満足度	83.5
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	外国人留学生の採用について、セミナーと合同企業説明会・業界研究会を開催した。セミナーの参加企業数については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により会場の収容人員を考慮し制限したため目標には達しなかった。 参加企業からのアンケート回答では、セミナー82.9%、合同企業説明会86.7%の満足度があり、企業の外国人留学生を採用する意識が高いことが伺え、フォローアンケート・ヒアリングの結果4社5名の採用が決定した。本事業を通して、支援企業に新たな人材確保の機会を提供する事ができた。							
		代表指標	外国人留学生採用への取組みを進める企業						
		数値目標	60.0%	実績数値	60.0%	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	セミナーに参加し、外国人留学生の活用方法、採用状況等について知識習得後、外国人留学生向け合同企業説明会へ参加したことで初めて外国人留学生（1人）の採用に繋がった。（0社）							
その他目標値の実績	目標値(計画)	100	目標値(実績)	155	目標達成度	155.0%			
	合同企業説明会への来場者数								
実施結果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により会場の収容人員を考慮し参加企業数を制限したため、セミナー参加企業の目標数には達しなかったが、資料の提供依頼などの問合せは複数あり、外国人留学生の採用に関する意識の高さが伺え、次年度以降については、3密回避と会場の収容人員を考慮した座席配置を行いつつ、1社1名参加に限定するなどの工夫をしながら支援企業数の増加に努める。 本年は、入国制限などにより外国人材がスムーズに入国できない状況であったため、外国人材の入国状況や法律の改定など外国人材雇用状況についてのセミナーを開催し知識を深めると共に、外国人留学生向けの合同説明会を開催し中小企業の雇用に繋げる。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	65	支援企業数(実績)	42	支援実績率	64.6%	満足度	82.4	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを経て合同企業説明会を開催したことで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で企業の採用意欲が低下しているものの、外国人留学生の採用に繋がった。								
		指標	外国人留学生採用への取組みを進める企業							
	数値目標	60%	実績数値	60%	目標達成度	100.0%				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	15	支援実績率	100.0%	満足度	86.7	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	外国人留学生が通う学校関係者との情報共有により合同企業説明会へ多くの外国人留学生が来場したことにより採用に繋がった。								
		指標	合同企業説明会への来場者数							
	数値目標	100	実績数値	155	目標達成度	155.0%				
その他目標値の実績	目標値(計画)	30	目標値(実績)	107	目標達成度	356.7%				
	合同企業説明会後の面接件数									

東大阪商工会議所

事業名		求人・求職マッチング事業	
想定する実施期間		1997 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	労働力人口の減少、大卒予定者や転職者の大企業志向等の状況下、中小企業を取り巻く雇用環境は、厳しさを増している。そこで本事業を通して中小企業と求職者のマッチングを図り、中小企業の人材確保を目指す。	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内事業所 24,644社 ※平成28年経済センサス基礎調査結果より	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>事業：東大阪合同企業説明会・業界研究会2021 開催日：2020年10月27日 午前10時～午後4時 会場：東大阪商工会議所 ※近畿大学にて実施予定が新型コロナウイルス感染症の影響で使用不可のため会場変更 企業数：30社 来場数：100名 面談数：327件 内容：市域企業の新卒者採用を円滑に進める事を目的に令和3年3月卒業予定の大学・短期大学・専門学校生及び既卒の方を対象に合同企業説明会を開催した。併せて、大学3年生以下の学生を対象に業界研究会を併催した。</p> <p>事業：東大阪合同企業説明会・業界研究会2021 開催日：2021年1月28日 午前10時～午後4時 会場：東大阪商工会議所 ※東大阪市内大学にて実施予定が新型コロナウイルス感染症の影響で使用不可のため会場変更 企業数：25社 来場数：75名 面談数：173件 内容：市域企業の新卒者採用を円滑に進める事を目的に令和3年3月卒業予定の大学・短期大学・専門学校生及び既卒の方を対象に合同企業説明会を開催した。併せて、大学3年生以下の学生を対象に業界研究会を併催した。</p> <p>事業：大学キャリアセンターと企業採用担当者との情報交換会 開催日：2021年3月3日 午後2時～5時 会場：東大阪商工会議所 参加数：大学・短期大学13校 参加企業37社 内容：第一部 ①参加大学の紹介②大学・短期大学から昨今の学生の動向についての説明 第二部 グループ別名刺交換及び情報交換</p> <p>事業：就職プラザ 開催期間：2020年4月～2021年2月（3月は更新期間） 参加企業：75社（アクセス数：4,151件 ※2月末現在） 内容：インターネットを通じた新規学卒者用求職マッチングサイト。市内企業の新規大学卒の求人情報をホームページ上で情報発信。</p> <p>事業：新規学卒者求人求職説明会 開催日：2020年5月25日 内容：新規中・高卒予定者の採用を予定する企業に対し、ハローワークを通じて中・高校への求人票の開示がされることなどの説明。また、公正な採用を行うための留意点について説明。 ※上記日程で開催を予定するも、新型コロナウイルス感染症蔓延における緊急事態宣言発出によって厚生労働省ホームページでの動画配信に変更。</p>	
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>	
		①府施策連携	労9番 求人・求職マッチング事業（地域労働ネットワーク事業） 事業実施に対して大阪府総合労働事務所と連携し、若者や中高年齢者などの求職者にPRを行う。
②広域連携			
③市町村連携	市より事業への補助金を交付		
④相談相乗			

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	180.0	総支援企業数(実績)	167.0	支援実績率	92.8%	満足度	69.5	
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>(目標設定) 合同企業説明会 35社 合同企業説明会 15社 大学就職部と企業採用担当者との情報交換会 40社 就職プラザ 60社 新規学卒求人説明会 30社</p> <p>(実績) 合同企業説明会 30社 合同企業説明会 25社 大学就職部と企業採用担当者との情報交換会 37社 就職プラザ 75社 新規学卒求人説明会 1社 (ハローワーク布施からの回答によると1,260社が動画を見たとのこと) 支援実績率も90%を超え、満足度も約70%を達成。事業を通して企業と求職者のマッチングを図ることで人材確保の一助とした。</p>								
	代表指標	面談実施数（合同企業説明会）								
	数値目標	500	実績数値	500	目標達成度	100.0%				
	成果の代表事例	東大阪合同企業説明会・業界研究会2021に参加したエアツール製造会社が学生と面談を行い、最終的に6名の採用に至った。								
その他目標値の実績	目標値（計画）	200	目標値（実績）	175	目標達成度	87.5%				
	求職者（合同企業説明会）200名									
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>○合同企業説明会 採用活動が活発化している4～6月での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催時期の変更を余儀なくされたことが来場者減少の要因と判断する。最適な時期に開催することで来場者を増加させる必要がある。</p> <p>○大学就職部と企業採用担当者との情報交換会 参加企業もほぼ定員近くに達し、満足度も80%弱の高評価を得た。参加企業・大学のアンケートを参考に運営方法を改善することで満足度向上を目指したい。</p> <p>○就職プラザ メルマガや様々な媒体でPRしたことによって昨年度よりもアクセス数の増加に成功。次年度以降も更なるアクセス数の増加を目指し、PRを続けていく。</p> <p>○新規学卒求人説明会 新型コロナウイルス感染症蔓延における緊急事態宣言発出によって厚生労働省ホームページでの動画配信に変更。</p>								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	35.0	支援企業数(実績)	30.0	支援実績率	85.7%	満足度	74.0
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	支援実績率、満足度評価共に高く、合同企業説明会を通して企業と求職者のマッチングを図ることで企業の人材確保の一助とした。							
		指標	面談実施数						
		数値目標	350	実績数値	327	目標達成度	93.4%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)	140	目標値(実績)	100	目標達成度	71.4%		
	求職者140名								
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	166.7%	満足度	74.4
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	支援実績率、満足度評価共に高く、合同企業説明会を通して企業と求職者のマッチングを図ることで企業の人材確保の一助とした。							
		指標	面談実施数						
		数値目標	150	実績数値	173	目標達成度	115.3%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)	60	目標値(実績)	75	目標達成度	125.0%		
	求職者60名								
実績／達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	0.0	支援実績率	0.0%	満足度	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルス感染症蔓延における緊急事態宣言発出によって厚生労働省ホームページでの動画配信に変更。							
		指標							
		数値目標		実績数値		目標達成度			
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実績／達成度④	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	37.0	支援実績率	92.5%	満足度	78.9
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	支援実績率、満足度評価共に高く、大学キャリアセンターと企業採用担当者との情報交換会を通して大学への求人の出し方や学生の動向などの情報を取得した。							
		指標							
		数値目標		実績数値		目標達成度			
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実績／達成度⑤	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	60.0	支援企業数(実績)	75.0	支援実績率	125.0%	満足度	61.3
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	支援実績率は計画を上回ったが、満足度が60%強とやや低い結果となったが、就職プラザに求人情報を掲載することで企業と求職者のマッチングを図り、企業の人材確保の一助とした。							
		指標							
		数値目標		実績数値		目標達成度			
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			

東大阪商工会議所

事業名		クラウド・ファンディング活用促進事業							
想定する実施期間		2014 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	本市域の事業所数は減少の一途を辿っており、今後起業家やベンチャー企業の創出・育成や企業存続への施策は喫緊の課題となっている。そうした中、平成26・27年度と2年間同施策を実施したものの一旦終了した。しかしながら、平成30年度より起業家などの創出・育成や企業存続に向けた新事業や新製品開発に対する企業取組への側面的な支援としてクラウドファンディングなどの新たな資金調達の手段についての情報を提供し、これら課題解決を行うことで地域活性化を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下全業種の事業所39万2,940社並びに創業予定者。 ※平成28年経済センサス滑動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	2020年9月17日(木) クラウドファンディング活用セミナー テーマ：～プロジェクト成功の秘訣がわかる！～ 中小企業のためのクラウドファンディング活用セミナー 事例発表：キャンプファイヤー公式キュレーター 参加者：21社25名 個者支援：2社。支援するも、実施するまでには至らなかった。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	府施策連携商17番：クラウドファンディング活用促進を通じて、地域産業活性化を図る						
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	22	総支援企業数(実績)	24.5	支援実績率	111.4%	満足度	91.1
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回本事業を実施したところ、支援企業計画数を上回った。クラウドファンディング自体の認知度は充分あり検討している企業も少なくないことが伺われる。 今回、講師からクラウドファンディング全般について資金を得るためのポイントなどを解説頂いたこと、実際に運営しているキャンプファイヤー公式キュレーター大村氏により成功させるためのポイントを講話頂いたことで、より積極的に活用の道が拓け、参加企業の新たな資金調達のツールが増えたことで新たな事業展開の促進に繋がり、ひいては地域経済の活性化に繋がった。							
		代表指標	クラウドファンディングなど新たな資金調達の利用を検討する企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	84.0%	目標達成度	120.0%		
	成果の代表事例	今回セミナー終了後に6社が残り個別相談会に参加した他、その内の2社に個別支援を行った。その中には、これまで製造卸が主で、小売りをしていなかった企業が自社オリジナル製品の販売を模索しており、その資金調達についてクラウドファンディングを検討しておりキャンプファイヤー公式キュレーターの大村氏につなぐことができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	クラウドファンディングは個人でSNSを活用してファンを増やすところから成功率が上がるという特徴があるため、クラウドファンディング事業者につなぐことはできても、実施に至りにくく次年度はこの事業を実施せず、事業者の動向を見ていく。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	22.5	支援実績率	112.5%	満足度	90.4
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	新たな資金調達手段としてのクラウドファンディングの利用を検討する機会を与えた							
		指標	クラウドファンディングなど新たな資金調達の利用を検討する企業割合						
		数値目標	70	実績数値	84	目標達成度	120.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	2	支援企業数(実績)	2	支援実績率	100.0%	満足度	100.0
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	クラウドファンディングを実際に検討する企業に実施事業者との面談機会を与えた。結果、実施には至らなかったものの実施に至る過程で必要なことが理解できた。							
		指標							
		数値目標		実績数値		目標達成度			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

東大阪商工会議所

事業名		BCP・BCMの普及促進事業							
想定する実施期間		2012年度～2020年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大地震や台風等の自然災害やインターネット普及によるサイバー攻撃など、企業経営に対する脅威は多種多様であるが、いかなる有事の際にも事業を継続し得る体制（BCP）作りが求められている。しかし、市内企業におけるBCPの策定やBCMに取り組む企業は、未だ多いとはいえないことから、その必要性を周知すると共に、施策普及などによりBCP策定を後押しする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内事業所 24, 644社 ※平成28年経済センサス活動調査結果より							
		中小企業向けコロナ禍対応BCP策定講座+いますぐ作る！超簡易版BCPの実施 日 時 2020年11月26日 14時～16時30分 場 所 東大阪商工会議所 本所本館4階大会議室 内 容 1. セミナー テーマ：事業継続計画策定のススメ 2. 超簡易版BCP「これだけは！シート」の作成方法 講 師：大阪府商工労働部中小企業支援室 3. 大阪府の施策説明 4. 個別相談会 2社 5. 燃料自動車の展示会							
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	(a)府施策連携商9番大阪府中小企業支援室経営支援課経営革新グループと連携し、専門家によるセミナーを開催することでBCPの普及啓発を行った。						
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	22.0	支援実績率	110.0%	満足度	81.7
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	上記講座を実施したところ、参加企業については目標を上回った。また、参加者アンケートの集計結果から満足度も8割を超え、好評であった。要因として新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえて、事業継続計画策定においては通常、自然災害などの防災などが中心となるが今回は感染症対策の部分にフォーカスした内容にしたことが上げられる。							
		代表指標	簡易版BCP「これだけは！」シート等のBCP作成企業数						
		数値目標	20	実績数値	22.0	目標達成度	110%		
	成果の代表事例	参加者アンケートによるとBCPの概要や策定方法、支援策の情報を得たことでBCP策定を「すぐにも取り組みたい」と回答した企業が5割程度あった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	50%	目標値(実績)	100%	目標達成度	200.0%			
	事業継続計画に取り組もうとする企業の割合								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回、参加企業数、満足度共に計画を上回ったことから大きな課題は見受けられない。今後は参加者アンケートでBCP策定について「すぐにも取り組みたい」と回答のあった企業については事後の状況を把握し必要な支援を行う。							

東大阪商工会議所

事業名		ものづくり支援拠点（MOBIO）連携推進事業								
想定する実施期間		2006 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	多様な製造業が高度に集積する本市の強みを活かし、様々なモノづくりに関する支援資源を有するMOBIOと連携することで全国からのものづくり相談を管内と府下事業所へマッチングすることで府下事業所の販路拡大を図り、地域産業の活性化に繋げる。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内製造業者42,680社 ※平成28年経済センサス活動調査結果より								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	中小製造業の街・ものづくり拠点地域としての強みを活かし、全国からの取引相談をMOBIO内(クリエイション・コア東大阪北館)に集約。経営指導員が随時、対応することで、府下事業所へ取引マッチングと販路開拓支援、資金繰り支援を行った。結果1,079件の取引コーディネートや販路支援、資金繰り改善等を行った。								
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	大阪府ものづくり支援課製造業振興グループやMOBIOに入居の各支援機関と連携し、定期的な会議での情報共有、常設展示場出展への誘導、管外からの見学受入、ものづくり相談での事業所紹介等でものづくり支援拠点の利用促進を図った。							
②広域連携										
③市町村連携										
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	400	総支援企業数(実績)	1,079	支援実績率	269.8%	満足度	94.8	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	受・発注の紹介支援については、管内、管外から寄せられた様々なモノづくりに関する相談に対応した。また、今年度は新型コロナウイルスの影響で融資相談が最も多く全体の32%を占め、次いで販路開拓に関する相談が24%となった。相談者から寄せられた問題について細かなヒアリングを行い、本所で実施している事業の利用や、他機関の媒体を利用した販路開拓など適切な方法を紹介し、課題解決に向けた支援を行った。								
		代表指標	引合い斡旋件数							
		数値目標	500	実績数値	1,079	目標達成度	216%			
	成果の代表事例	京都の事業者が試作品開発に係り、小さな歯車を製作している事業所を探しているということで、市内の事業所を3社紹介したり、市内製造業者から樹脂で図面預かり2種類の製造をしてくれるところを探しているということで、同じく市内の事業者を紹介するなど、あらゆる方法で問題解決に繋げた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	コロナ禍で出入りできない時期があったが、支援対象企業数は目標値を超えた。次年度以降も各関係機関と連携を図り、取引活性化につなげたい。また、販路開拓支援や融資相談なども柔軟に対応し、企業のニーズに合った効果的な支援を行う。								

東大阪商工会議所

事業名		知財活動支援事業						
想定する実施期間		2016 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	管内事業所は、下請けを脱するため、独自技術や優れた加工技術を使い新製品開発を進める事業所が増加している。そうした事業所が開発に費やした労力をムダにしないため、権利や秘密事項を奪われないようにするために知的財産の理解と活用を促進する。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造業者を中心とした全業種の事業所 422, 568社を対象とする。 *平成28年経済センサス活動調査結果より						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①知財活用セミナー 日 時：2021年2月10日(木) 18時00分～20時00分 場 所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室1 内 容：はじめての「営業秘密」～会社の信用を守る～ 参加者：21社21名						
		②MOBIO知財サポートチームとの個別巡回支援 巡回訪問企業数：2社						
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>						
①府施策連携		府施策連携商23番:大阪府MOBIO知財サポートチームと連携し、当事業の企画から広報を共有し、事業実施に当たっては、府関連施策の紹介と以降の府施策の活用について連携した。						
②広域連携								
③市町村連携								
④相談相乗								
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	32	総支援企業数(実績)	23	支援実績率	71.9%	満足度	85
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	☆はじめての「営業秘密」～会社の信用を守る～						
	代表指標	MOBIO知財サポートチーム及びINPITと連携しハンズオン支援する企業数						
	数値目標	2	実績数値	2	目標達成度	100.0%		
成果の代表事例	MOBIO知財サポートチームの利用促進について一定数の実績があがった。その中には、大阪府の担当者とINPIT知財総合支援窓口の窓口支援担当者との帯同訪問で対応した企業の中に新商品開発に係る特許権の申請を模索されていた企業があり、INPIT知財総合支援窓口の担当者と連携し適切な指導及び支援を行った事で特許権の申請に向けて準備をしている。事業所様からは新たに知財という戦略を見つけることができ満足したとの回答をいただいた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	セミナー参加企業の習熟度、満足度共に高い評価を得ており、より広く知財活動を理解してもらえたように思われる。今後の取組みとしては、大阪府知財サポートチーム、INPIT知財総合支援窓口担当者と一緒に個別に企業を巡回訪問し、知財活動の普及、施策利用促進についても引き続き継続して施策の周知PR及び個社支援を実施して行きたい。						

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	21	支援実績率	70.0%	満足度	65.2
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーに参加した、知財に関して前向きな事業所数							
		指標							
	数値目標		実績数値		目標達成度				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	2	支援企業数(実績)	2	支援実績率	100.0%	満足度	100.0
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	知財を活用した経営戦略を取っている事業所数							
		指標							
	数値目標		実績数値		目標達成度				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

東大阪商工会議所

事業名		経営革新の支援事業							
想定する実施期間		2007	年度～	2020	年度まで	※複数段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	経営革新に取り組んでいる、これから申請しようと考えているが何から始めたらよいかのわからない前向きな中小企業を掘り起こし、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認取得を支援する。また、承認企業の事業計画作成、計画実施をサポートすることにより、地域産業の牽引役となる成功企業を輩出する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業者 5,954社 *平成28年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日時：2020年8月21日（金）午後6時30分～8時30分 場所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室1・2 テーマ：「激動の時代に勝つ 逆境の中での経営戦略の進め方！」～幹部人材の育成法～ 講師：Y社 代表取締役 参加者：20社26人 日時：2021年3月4日（木）午後6時30分～8時30分 場所：東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室2 テーマ：「大激動時代に勝つ コロナ後の世界・勝ち残る条件！」～幹部人材の育成法～ 講師：Y社 代表取締役 参加者：12社15人 内容： ●8月21日 ・過去の経営者に学ぶ再建法とは ・激動期の経営戦略とは ・戦略的な中期経営計画の推進法 ●3月4日 ・事例で学ぶ経営再建法 ・時間価値の再構築、収益力強化 ・幹部人材の育成法 ・大激動期の経営戦略とは							
		※いずれもセミナー終了後、大阪府商工労働部経営支援課 経営革新グループ担当者より経営革新計画申請の方法やメリットについて解説頂いた。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
①府施策連携	府施策連携商10番:大阪府経営支援課経営革新グループと連携しセミナー内容及び経営革新計画の取得を支援する為の概要から取得に係る手順、取得後の支援施策等について協力を得ながら、承認企業発掘促進を図った。								
②広域連携									
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30	総支援企業数(実績)	35.5	支援実績率	118.3%	満足度	89.8
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	2回にわたり経営革新セミナーを開催し、経営者から役員のみならず従業員の方まで受講され、受講者のアンケート満足度は非常に高かった。経営者や幹部として今後の経営企画を進めるにあたり参考にする。企業方針、経営戦略を決定するときに役立てるといった前向きな回答が得られた。激しい経営環境の中で勝ち残るには自社の改革が必要で、それには経営者・幹部の考え方や戦略的の中期計画の策定が求められる。参加者からは経営革新に前向きな意見が多くあり、13社から推進したい意向を示され、経営革新計画承認に対する意識を高めることが出来た。							
		代表指標	経営革新計画承認に向けた取組を検討する企業数						
	数値目標	10	実績数値	11	目標達成度	110%			
	成果の代表事例	参加者アンケートから「PDCAサイクルの必要性を感じた」「今後の企業方針、経営戦略の決定に役立てる」「経営力を身につけるのに役立てる」「人材育成に役立てる」など経営革新に前向きな回答が寄せられた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	支援企業数は目標に少し足りなかったが、参加アンケート以外に感想で経営革新についてのコメントが上記のようにたくさんあり、経営者や幹部の意識改革ができたものと分析する。全体の満足度、習熟度ともに高い結果となった。次年度もこの意識啓発に努め企業が発展するきっかけとなるとともに、1社でも多くの経営革新計画承認企業が輩出されるよう、参加企業のフォローアップを図りたいと考える。							

令和2年度（2020年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

東大阪商工会議所

事業名		人材ニーズ対応プラットフォーム事業							
想定する実施期間		2020 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	管内事業所においては、生産年齢人口が減少する中、人材不足が恒常化しつつある。更に働き方改革により業務の効率化、生産性の向上を喫緊に進める必要がある。しかしながら、管内事業所においてはそのような活動を進める上での人材を確保しておらず進められないのが現状である。そこで（公財）大阪産業局と連携し、管内事業所が抱える課題の抽出しその解決策の提示、各種支援機関へマッチングするなどにより管内事業者等労働環境の改善を図り、各事業所の発展に更に寄与していく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造事業者42,680社を対象とする。 *平成28年経済センサス活動調査より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>中小企業のための人材確保セミナーの実施</p> <p>日時 2021年1月29日 15時～16時30分</p> <p>場所 東大阪商工会議所 本所本館4階大会議室</p> <p>内容 1. 施策説明 テーマ：中小企業のための人材採用コンシェルジュの紹介 講師：（公財）大阪産業局 HR戦略部</p> <p>2. 事例発表 テーマ：プロフェッショナル人材戦略拠点事業の活用について 発表者：S社 コーディネーター：（公財）大阪産業局 採用戦略アドバイザー</p> <p>参加者数 11社（13名） 個社支援の実施 5社 S社：工場長などの管理部門の人材確保を希望 M社：受注の拡大に伴い作業員（若年者）を希望 N社：営業職の人材を希望 S社：若年者の雇用確保を希望 Y社：今後の事業拡大に向け管理職候補の人材を希望 上記5社の相談に対して、（公財）大阪産業局の採用戦略アドバイザーと本所経営指導員が帯同訪問し課題解決を図る。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携	府施策連携商1番 管内事業者の事業継続のための中核人材や今後中核を担う人材など各事業者が求める人材確保に向けた支援を通じ、（公財）大阪産業局と連携し、管内事業者等の人材確保支援を行う。また、セミナーの講師選定など事業企画の段階から（公財）大阪産業局と連携し実施した。						
		②広域連携							
	③市町村連携								
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	64.0%	満足度	81.7
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	中小企業のための人材確保支援セミナーにおいては、1月14日に大阪府にも緊急事態宣言が発令されたこともあり、参加者は11社13名と低調であった。しかしながら、参加者アンケートによる満足度については8割を超えており、一定の成果はあったと思われる。また、個社支援については計画通り5社に対して実施したところ、企業の人材確保に関する課題だけでなく人材育成、社員のモチベーションアップなどについての課題も発掘することが出来たことで支援企業から感謝の声もあるなど成果は大いにあったと思われる。							
		代表指標	(公財)大阪産業局との連携により人材を確保する企業						
		数値目標	2	実績数値	5	目標達成度	250%		
	成果の代表事例	個社支援企業5社の内、現在も（公財）大阪産業局の採用戦略アドバイザーと本所経営指導員が継続して支援しており、2021年度には採用が決まる可能性がある。							

	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	今回、セミナーでの参加企業数が計画時の6割程度少なかった。要因としては上記で述べたように緊急事態宣言が発令されたことにある。次年度においても新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中、リアルでの開催だけでなく、オンラインでの開催も視野に入れて、その時々状況に合わせた実施方法を検討する必要がある。					

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	11	支援実績率	55.0%	満足度	81.7	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	今回、支援企業数は目標の6割弱と少なかったものの、参加者アンケートの満足度は8割を超え、潜在的なニーズは高い。更に参加者にとっては（公財）大阪産業局の支援メニューの情報を得たことで今後の人材確保に向けた活動をしやすくなった。								
		指標	（公財）大阪産業局との連携により人材を確保する企業							
	数値目標	2	実績数値	5	目標達成度	250.0%				
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	5	支援企業数(実績)	5	支援実績率	100.0%	満足度	81.7	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	今回、個社支援については当初の目標である5社を支援することができた。しかしながら、年度内での新規雇用確保には至らなかったが現在も継続して支援しており来年度には新規での雇用確保が期待できる。								
		指標	（公財）大阪産業局との連携により人材を確保する企業							
	数値目標	2	実績数値	0	目標達成度	0.0%				
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					

令和2年度（2020年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

商工会・商工会議所（選択してください）

事業名		技術専門校を活用した中小企業従業員等の技術向上事業（ものづくり人材育成事業）						
想定する実施期間		2009 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	経営資源が乏しい中小企業では従業員への技術教育が行き届かず、技術系人材の量的・質的不足が事業所の持続的成長を阻害する一因となっている。本事業はテクノ校の設備を活用し、新人・若手の早期戦力化の為に基礎知識及び、CAD等の個別技術を習得することにより従業員の技術等の向上を目指す。						
	支援する対象 （業種・事業所数等）	市内製造業者 5,954社 ※2016年経済センサス活動調査 業種別事業所数より						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【テーマ】 製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー</p> <p>【日時】 2020年8月5日（水）・6日（木） 9:30～16:30 2日間コース</p> <p>【内容】 製造現場の仕事 ⇒ モノ・お金の流れ、3M（人・材料・設備）とQCD（品質・コスト・納期） 職場の安全 ⇒ 安全対策・ヒューマンエラー防止・安全活動 品質管理 ⇒ QCの七つ道具 生産管理 ⇒ 様々な在庫管理 工程管理 ⇒ 工程分析、工程計画（作業管理）</p> <p>【参加者】 14社 19名</p>						
		<p>【テーマ】 機械CAD入門セミナー</p> <p>【日時】 2020年10月3日（土）・10日（土）・17日（土） 9:30～16:30 3日間コース</p> <p>【内容】 【1日目】 CADの概要、作図基本機能及び補助機能（線、円、長方形、OSNAPなど）について 基本編集機能（移動、複写、オフセット、トリムなど）について、寸法・文字記入について 【2日目】 画層機能について、投影図作成（課題：縮尺1:1）、 作図機能及び補助機能について（基本操作確認、多角形、</p>						
		<p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <p>①府施策連携 大阪府立東大阪高等職業技術専門校から講師の派遣、施設の利用を受け、中小企業在职者の技術向上を目指した。</p>						
②広域連携								
③市町村連携								
④相談相乗								
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	32.0	支援実績率	106.7%	満足度	89.7
事業全体の実績／目標達成	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	<p>・「製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー」</p> <p>セミナー受講者のアンケート満足度は88%と全体的に高い。新人・または入社3年目までの従業員が製造現場で働く上での品質管理や製造現場における仕事の基礎知識を習得するとともに、作業工程の改善前と改善後のリードタイムの平均値を求め、分析する手法等を学ぶ為のワークショップが行われた。参加者からは本セミナーを受講して自社で活用できるの有効な知識を得ることができた等の好評価が寄せられた。</p> <p>・「機械CAD入門セミナー」</p> <p>セミナー受講者のアンケート満足度は91%と全体的に非常に高い。初心者を対象とした機械図面に関する基礎知識と、図面の描き方や作図法の基礎技能を習得するとともに、最終は機械図面の作成実習まで行った。参加者からは習得した技術を活用することで「業務の時間短縮ができる」等、成果を実感した意見がみられた。</p>						
	代表指標	製造現場での基礎知識を活用できると感じた事業所数						
	数値目標	5社	実績数値	14社	目標達成度	280.0%		

成 度	成果の代表事例	<p>・製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナー：「製造現場の基礎知識など今後、職場に活かせることを学ぶことができた。」と言った、直接業務につながる前向きな意見が受講者より示された。</p> <p>・機械CAD入門セミナー：「今回実習したことで、自社の業務で時間短縮ができると思った。」などのアンケート回答があり、本セミナーが自社において実際に業務効率化につながることを期待される。</p>					
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度	
実 施 結 果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	<p>セミナー開催がコロナ禍ということもあったが、両セミナーとも定員になり集客ができたが、製造現場ではたらく若手従業員の早期戦力化セミナーに関しては、1社で複数人の申込企業が多かったため、1社の申込人数に規制をかけ、さらに多くの事業所に申込みいただくようにPRしていく。</p>					

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実 績 ／ 達 成 度 ①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15社	支援企業数(実績)	14社	支援実績率	93.3%	満足度	88.4
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	本セミナー受講することによって、生産管理や工程管理を学習でき、職場で活用できると感じた受講者の意見が多数あったことから、若手従業員の知識の向上につながった。						
		数値目標	5社	実績数値	14社	目標達成度	280.0%		
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度			
実 績 ／ 達 成 度 ②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15社	支援企業数(実績)	18.0	支援実績率	120.0%	満足度	91.0
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	本セミナーを受講することによって、習得した技術を現場で活用できると感じた受講者の意見があったことから、参加者の技術向上につながった。						
		数値目標	5社	実績数値	17社	目標達成度	340.0%		
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度			

令和2年度（2020年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

商工会・商工会議所（選択してください）

事業名		中小企業に対する高年齢者雇用サポート事業							
想定する実施期間		2014 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	管内中小・零細企業にとっては、雇用環境の改善による技術・ノウハウを持った高齢者の継続雇用は企業の発展に不可欠なものである。今後は高齢者の継続雇用に必要な労働環境の整備が求められ、専門アドバイザーを活用し就労対策の推進を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下全業種の事業所を対象 事業者数392,940社 ※平成28年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	高年齢者雇用促進セミナーの実施 日 時 2020年10月23日(金) 14時00分～16時00分 場 所 東大阪商工会議所 本所本館 4階大会議室1 内 容 ①テーマ 高年齢者雇用環境構築手法について ②テーマ 高年齢者雇用に係る助成金や支援メニューについて ③企業による事例発表 参加者数 18社(19名)							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	府施策連携労8番 大阪府就業促進課 就業支援グループや高齢・障害・求職者雇用支援機構、社会保険労務士など専門家と連携し、セミナーや個別相談の対応を行い人材確保の促進を行なう。						
		②広域連携							
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	17.0	支援実績率	68.0%	満足度	87.1
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	2部に分けて高年齢者雇用促進セミナーを開催し、第1部では高年齢者雇用環境(賃金体系、評価制度、就業時間など)構築の手法について特定社会保険労務士より解説、第2部では高年齢者雇用に係る助成金についてという講義内容だった。経営者から従業員の方まで役職を問わず受講し、受講者のアンケート満足度は「満足」57.9%「やや満足」26.3%と高かった。継続雇用促進のためには、会社全体で取り組まないと成り立たない、「従業員同士の適切な心配りが必要と実感した」等前向きな回答も得られた。若年者等の新規雇用確保が難しい中、企業発展には高年齢者の継続雇用が必要で、それには労働環境の整備や専門アドバイザーを活用し就労対策の推進が求められる。参加者からは今後雇用を促進すると前向きな意見が多くあり、半数以上の12社と既に取り組んでいる4社が推進する意向を示され、高年齢者雇用促進に対する意識を高めることが出来た。							
		代表指標	高年齢者雇用推進しようとする企業の割合						
	数値目標	70%	実績数値	88.0%	目標達成度	125.7%			
	成果の代表事例	参加者アンケートから「高年齢者雇用における賃金体系評価制度について詳しく知ることができた」「事例発表で実際に高年齢者を雇用している企業の話聞いて参考になった」など前向きな回答が寄せられた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	セミナー参加企業の習熟度、満足度共に高い評価を得ており、より広く高年齢者雇用促進について理解してもらえたように思われる。しかし参加企業数については17社と当初計画していた25社には届かなかった。今期で終了する事業であるが、今後の取組みとしては、社会保険労務士など専門家と連携し、対応をしていきたい。							

東大阪商工会議所

事業名		(地独) 大阪産業技術研究所 (ORIST) 連携事業							
想定する実施期間		2016 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	技術革新が急激に進む中、新たな技術・製品開発への取組みは企業の競争力強化には必要不可欠である。しかし経営資源の乏しい小規模事業者にとって、技術課題に直面するケースも見受けられる。よってORISTと連携し、同所の支援メニューを活用する事で課題解決に繋げる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内製造業者 5,954社 ※平成28年経済センサス活動調査結果より							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	ORIST技術シーズ報告会の開催 日 時 2020年11月11日 14時～16時30分 場 所 東大阪商工会議所 本所本館4階大会議室 内 容 テーマ1：ORISTのものづくり支援メニューの紹介 テーマ2：非常に優れた耐摩耗性および耐食性をもつCr-C合金めっき テーマ3：レーザー肉盛りによる金属の表面改質技術 テーマ4：摩擦攪拌接合技術 テーマ5：FSSWによるセラミックス/金属接合体の接合界面調査とその知見を用いたセラミックスの接合技術 上記のテーマについて、ORISTの研究員等から説明があった。 参加者数 19社(24名)							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談相乗)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	(a) 府施策連携商18番 (地独) 大阪産業技術研究所 (ORIST) 連携事業：大阪府のものづくり支援課技術支援グループと連携し、ORIST本部・和泉センターや同研究所のシーズ報告会を実施し、管内製造事業者の技術課題の解決に繋げる。						
②広域連携									
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	95.0%	満足度	79.2
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	昨年まではORISTの施設見学をおこなってきたが同機関の施設についてはほぼ見学しており、今回は同機関が有する技術シーズの発表会を実施した。その結果、参加者は19社24名となり、且つ参加者アンケートによる満足度は79.2%と高く好評であった。また、同施設の利用についても「活用したい」が4名、「課題があれば活用したい」20名との回答であり、今後、同機関の存在意義を高める結果となった。							
		代表指標	今後、ORISTを活用しようとする企業						
	数値目標	10	実績数値	19	目標達成度	190%			
	成果の代表事例	参加者アンケートのフリーアンサーにおいて、大阪産業技術総合研究所を見学したいとの回答があった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回は、参加者数、満足度においても高い数値を示していることから大きな課題は見当たらないが、今後、同事業を実施する際には事業の広報についてより多くの機関と連携することで本市域の企業だけでなく大阪府内の事業所の参加も募ることで同機関のPRをする。							

東大阪商工会議所

事業名		キャッシュレス化の推進事業								
想定する実施期間		2020 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2020年東京オリンピック、2025年大阪・関西万博に向けて、国ではキャッシュレス社会を目指すべく2019年6月に成長戦略フォローアップを閣議決定しキャッシュレス決済比率40%を目指している。そのような中、本市域商業者においてもインバウンド需要を取り込むべくキャッシュレス決済システムを導入することが必要であるが未だ同決済システムを導入していない商業者、特に小規模事業者を多く見受けられる。そこで、同決済システムを導入することのメリットなどについて解説するセミナーを実施し本市域商業者のキャッシュレス決済システムの導入比率を高め、市域商業者の発展に繋げる。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内全産業392,940社 平成28年経済センサス活動調査より								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>1. 消費税軽減税率制度の仕組みやインボイス制度導入に向けた経理処理対策&キャッシュレス決済導入セミナー 日時:2020年10月2日(金)14時00分～17時00分 場所:東大阪商工会議所 本所本館 4階 大会議室1 内容:【セミナー】(14:00～17:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 消費税軽減税率制度の仕組みやインボイス制度導入に向けた経理処理対策セミナー ・テーマ キャッシュレス決済導入セミナー <ul style="list-style-type: none"> ①キャッシュレスの現状 ②新しいキャッシュレス施策のご紹介 ③コロナ禍をチャンスに変えた取り組み事例 <p>参加事業所数:22社</p> <p>2. 3社の個者支援を行った。</p> <p>①T事業所 飲食店 内容:現在、当事業所では新たなキャッシュレス決済の導入を検討している。現金でのやり取りが主となっており、インバウンド需要の発掘のために、外国人への対応も可能となるキャッシュレス決済の導入を考えている。今回、PayPay(株)と本所が帯同訪問し代表者と面談し同事業所の抱えているキャッシュレス決済導入に対する不安などをヒアリングした。その後、同店に来店する利用客層などを確認した後、PayPay導入によるメリットや近隣店舗の事例紹介などを行った。キャッシュレス決済導入については、将来への検討事項となった。</p> <p>②S事業所 飲食店 内容:当事業所では、新型コロナウイルス感染症の蔓延もあり、来客数が減少し売上が減っている。そこで、現金でのやり取りを減らすことが出来、かつ新たな販路拡大を図ることが出来るキャッシュレス決済の導入を考えている。今回、楽天Pay(株)と本所が帯同訪問し代表者と面談した。そこで、同事業所の抱えているキャッシュレス決済導入に対する不安などをヒアリングした。その後、同店に来店する利用客層などを確認した後、楽天Pay導入によるメリットや近隣店舗の事例紹介などを行った。結果として後日、導入することとなった。</p> <p>③F社 洋服販売 内容同社は現在の代表者が就任後、様々な取り組みを行い、事業規模の拡大に成功している。今回、将来的なインバウンド需要やキャッシュレス決済の普及をにらみ。キャッシュレス機械の導入を考えている。そこで、PayPay(株)と本所が帯同訪問し代表者と面談し同社のキャッシュレス決済導入に対する疑問点などをヒアリングした。その後、同社に来店する利用客層などを確認した後、PayPay導入によるメリットや近隣店舗の事例紹介などを行い、キャッシュレス決済導入をすることになった。</p>								
		<p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td>募集方法については、本市域商店街にも協力を仰ぎ広報を行い集客を図った。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td></td> </tr> </table>		①府施策連携	募集方法については、本市域商店街にも協力を仰ぎ広報を行い集客を図った。	②広域連携		③市町村連携		④相談相乗
①府施策連携	募集方法については、本市域商店街にも協力を仰ぎ広報を行い集客を図った。									
②広域連携										
③市町村連携										
④相談相乗										

事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	28.0	総支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	89.3%	満足度	96.4
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	昨年に続き2回目となるキャッシュレス決済導入に関するセミナーを実施したところ、セミナー参加者の満足度は83%を超えていた。これは、管内中小企業・小規模事業者がインバウンド需要の取り込みやコロナ禍での商機について常に検討していることが伺える。しかしながら、アンケート結果を見る限り、特に製造業などでは今後のキャッシュレス決済導入に取り組む予定が無いなど、なかなかキャッシュレス決済導入に向けた取り組みが困難であることが浮き彫りとなったと思われる。							
		代表指標	キャッシュレス決済導入に取り組む企業						
	数値目標	60%	実績数値	29.1%	目標達成度	48.5%			
成果の代表事例	今回、セミナー参加者の内1社を個社支援した。その参加者はキャッシュレス決済導入への取り組みを本格的に開始することとなった。同事業所にとっては、販路拡大への一手となるものであり、今回の支援は非常に有効なものとなった。								
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	セミナー参加企業の習熟度、満足度共に高い評価を得ており、多くの事業所にキャッシュレス決済導入について理解してもらえたように思われる。しかし、参加企業数については22社と当初計画していた25社には届かなかったが9割弱の参加をいただいた。本年の取組みとしては、管内事業所のキャッシュレス決済の導入比率を高めるため、ハンズオン支援など取り組みの強化を図っていきたい。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	22.0	支援実績率	88.0%	満足度	83.6
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを通してキャッシュレスの現状やコロナ禍での取組事例等の知識を得ることで今後の販路拡大に繋がる。							
		指標	キャッシュレス決済導入に取り組む企業						
	数値目標		実績数値		目標達成度				
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	3.0	支援企業数(実績)	3.0	支援実績率	100.0%	満足度	93.3
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回、3つの事業所へキャッシュレス決済機器導入の支援を行った。支援にあたり、PayPay(株)と楽天Pay(株)のキャッシュレス決済2社と共に帯同訪問を行い、メリットや導入に対する不安などのヒアリングを行った。結果として、2つの事業所がキャッシュレス決済機器の導入を決めた。							
		指標	キャッシュレス決済機器を導入する企業						
	数値目標		実績数値		目標達成度				
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				

令和2年度（2020年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

商工会・商工会議所（選択してください）

事業名		技能検定の活用促進事業								
想定する実施期間		2015 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	人材不足が社会問題となる中、限られた人材を適材適所に配し、いかに育て上げるかが喫緊の課題となっている。本事業において製造事業者の技術系人材の育成や技能継承を円滑化すべく公的制度（技能検定及びものづくりマイスター制度）の有効活用の促進を図る。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造業者42, 680社を対象とする。 *2016年経済センサス基礎調査結果より								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	・2021年3月3日（水）午後3時～午後4時45分 テーマ 技能五輪選手育成のプロが語る 技能系人材の育て方 内容 第1部 事例発表 「成果が出る 技能系人材育成のノウハウ」 第2部 技術承継に役立つ公的制度の活用について 第3部 交流会（講師、参加者による名刺交換を行った） 参加者 15社、16名								
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携	講師の選定から事業企画において大阪府と連携する。また、実施にあたっては広報協力、更には講師として大阪府の施策について解説いただいた。							
②広域連携		府施策連携労13番。技能検定の活用促進事業を通じ、府内製造事業者の技術者育成支援を行う。また、実施に際しては各支援機関との連携を図る。								
③市町村連携										
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	60.0%	満足度	82.5	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	「技能五輪選手育成のプロが語る 技能系人材の育て方」セミナー受講者のアンケート満足度は83%と全体的に高い。中小企業は、人材不足が社会問題となる中限られた人材を適材適所に配置し、いかに育て上げるかが喫緊の課題である。第1部ではA社監査役より技能五輪（技能レベルを競う全国大会）へ出場する選手を育成していた経験を活かし技能系人材育成に成果を挙げている事例発表があった。第2部では大阪府職業能力開発協会から技術承継に役立つ公的支援制度の活用について説明があった。参加者からは人材育成の取組みを参考にしたいなど、前向きな意見が多くあり、施策に対する意識を高めることができた。								
		代表指標	技能検定の活用への取組みを検討する							
		数値目標	50%	実績数値	93.8%	目標達成度	187.6%			
	成果の代表事例	「技能検定の受験に向けて取組みを検討したい」、「ものづくりマイスター制度の活用を検討したい」とのアンケート回答が多くあった。本セミナーの人材育成方法を参考に企業の体質強化を図りたいと、前向きな意向を示す事業所も見られた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	セミナーの開催時期が緊急事態宣言の解除後、すぐということもあり、参加したいが社内方針で参加できない企業もあり、支援企業数は目標に届かなかったが、「技能検定を活用したい・活用を検討する」企業が多く、また、全体の満足度も高い傾向にあった。次期は更に周知PRの仕方を工夫し、大阪府、大阪府職業能力研究所のアドバイスを頂きながら事業を実施したい。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)		支援企業数(実績)		支援実績率		満足度	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーに参加することによって、技能検定受験を社内に取り入れたい企業や、ものづくりマイスター制度を活用したい企業もあり、活用の促進が図れた。							
		指標	ものづくりマイスター制度の活用割合						
		数値目標	50%	実績数値	81%	目標達成度	162.6%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

東大阪商工会議所

事業名		事業承継支援ネットワーク事業
想定する実施期間		2018 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2018年度より実施してきた同事業では、セミナーによる集団支援や事業承継コーディネーターによる個者支援で管内事業者の事業承継を支援してきた。その中には様々な課題を抱えるケースがあり、次年度以降も事業承継問題の多様性と共にそのニーズも予想される。加えて今後は、当方から積極的な事業承継の課題を掘り起しや、場面に応じたきめ細やかな支援を実施していく。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造業者42,680社を対象とする *平成28年経済センサス活動調査結果より
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>①事業承継セミナー 東大阪商工会議所 【開催日時】2020年9月2日(水) 14時～16時 【開催場所】東大阪商工会議所 本所本館4階中会議室2 【テーマ】◆事業承継とM&A入門セミナー 大阪府事業引継ぎ支援センター統括責任者 ◆事例発表 N社 【参加者数】16社16名</p> <p>八尾商工会議所 【開催日時】2020年11月19日(木) 18時30分～20時30分 【開催場所】八尾商工会議所 3階 中会議室 【テーマ】事業承継対策セミナー [第1部] 事業承継対策に待ったなし！円滑な事業承継に向けた支援策について [第2部] 事業承継に係る事例のご紹介 【講師】[第1部] 大阪府事業承継ネットワーク 事業承継コーディネーター [第2部] T社 【参加者数】20社26名</p> <p>松原商工会議所 【開催日時】2021年3月3日(水) 19時～20時30分 【開催場所】松原商工会議所 5階 【テーマ】◆事業承継で次世代に繋げよう！ K社 【参加者】 20社21名</p> <p>②事業承継連絡会議 ◆第1回連絡会議 【開催日時】2020年9月2日(水) 13時～13時50分 【開催場所】東大阪商工会議所 本所本館4階中会議室 【議 件】(1)各団体による事業承継事業について 【出席者】10名(日本政策金融公庫東大阪支店、大阪府経営支援グループ、八尾商工会議所、松原商工会議所、東大阪商工会議所、プッシュ型事業承継支援高度化事業大阪中河内ブロックCD、東大阪市事業承継総合相談窓口CD)</p> <p>◆第2回連絡会議 【開催日時】2021年3月11日(木) 13時～14時 【開催場所】東大阪商工会議所 本所本館4階中会議室 【議 件】(1)各団体による事業承継事業実施結果及び今後の予定等 (2)事業承継コーディネーターによる事例発表 【出席者】12名(日本政策金融公庫東大阪支店、大阪府経営支援グループ、八尾商工会議所、松原商工会議所、東大阪商工会議所、プッシュ型事業承継支援高度化事業大阪中河内ブロックCD、東大阪市事業承継総合相談窓口CD)</p>
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>
①府施策連携	大阪府経営支援グループと連携し、年2回の連絡会議での情報交換やセミナーでの講師を務めて頂いた。	
②広域連携	日本政策金融公庫東大阪支店、阿倍野支店や八尾商工会議所、松原商工会議所と連携し、年2回の連絡会議での情報交換や各団体において関連セミナーの実施を行った。	

		③市町村連携							
		④相談相乗							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	70	総支援企業数(実績)	56	支援実績率	80.0%	満足度	90.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>【東大阪商工会議所】 参加企業全般の満足度としては80%あり、本セミナーを受けた8割以上が満足と回答した。また、本セミナーでの習熟度についても7割以上が事業承継の重要性を理解し、事業承継に向けての意識（準備）が高まったとした。加えて、個別相談を希望する企業もあり、プッシュ型事業承継支援高度化事業の事業承継コーディネーターに繋いだ。</p> <p>【八尾商工会議所】 ●小規模事業者数（支援事業所数）は19.5社 ●満足度は96.3% ●その他回答（複数回答）として、「事業承継対策への関心や知識が高まった」21件、「事業承継に向けた自社の現状を見直すキッカケとなった」9件、「事業承継への留意すべきポイントが理解でき、ステップに繋がられる」5件と、事業承継への準備の必要性について意識が高まったと考える。 ●現在、個別支援を希望している8社に対して事後フォローを実施しており、5社は大阪産業局、3社は地域ブロックコーディネーターと連携して支援にあたる。</p> <p>【松原商工会議所】 参加企業の満足度は約92%と高く、実体験を踏まえた失敗談や成功談は事業承継を考えるきっかけとなった。また、講師が被承継者であり、先代からの教えに自身の考え方を加えてチャレンジしている具体的な話は、参加された若手経営者の被承継者として意識向上にも繋がった。</p>							
		代表指標	事業承継の準備に取り掛かる事業所数						
		数値目標	20	実績数値	19	目標達成度	95.0%		
成果の代表事例		<p>【東大阪商工会議所】 食品等の詰め合わせやギフトショップの経営を行っている法人であるが、代表に親族の後継者がおらず、番頭役の専務も高齢で事業承継が課題となっている。今般、セミナー受講後に個別相談があり、事業承継コーディネーターと共に実地訪問の上、ヒアリングから方策（特にM&Aの説明）について支援した。</p> <p>【八尾商工会議所】 [参加事業所の声] ●父の病死から母が代表取締役になり、何もわからず進んでいたが、数年前から事業承継が必要だと思い、今後具体的に取り組んでいきたい。 ●親世代に対する対応の仕方が理解できた。 ●今後の事業承継に活かしたいと思います。</p> <p>【松原商工会議所】 事業承継を進めている参加者からは、実際の体験談を聴くことで、今後の気を付けなければならないことの再確認や事業承継を計画的に進めていく大切さを学んだとの声をいただいた。</p>							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	<p>東大阪、八尾、松原商工会議所で事業承継セミナーを各々1回計3回実施した。結果、八尾、松原商工会議所は当初の計画以上の参加者があり、東大阪でのセミナーで参加者が下回った。参加者アンケートで満足度が高かっただけに事業承継の重要性、また早期の準備を如何に意識付けるかが課題ではないかと考える。日々の経営相談で後継者の有無をヒアリングするなどして、課題の掘り起こしに努めていく。</p>							

商工会・商工会議所（選択してください）

事業名		売りメッセ取引商談会 in東大阪事業							
想定する実施期間		2003 年度～ 2020 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	管内事業所で製造業または卸売・小売業が扱う商品を通信販売や店舗販売、卸売企業等のバイヤーとの商談の場を提供し、管内事業所の販路開拓の支援を行うことを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府下製造事業者、小売業者、卸売業者 142,224社 *平成28年経済センサス活動調査により							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	2020年11月24日 15時～17時 商談会直前「プレゼンセミナー」 東大阪商工会議所 本所本館4階 大会議室 参加者 21名 内容 ①商談で成功させるための事前準備②商談時のプレゼンの仕方③商談後のフォロー その他、商談会で効果的なプレゼンを行う方法・具体例の解説							
		2020年12月10日 10時～16時30分 東大阪商工会議所 本所本館4階 大会議室 バイヤー 17社、売込企業 91社、総商談件数321件 商談成果 商談成立 4件、商談成立可能性あり 18件							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携	(b)：北大阪・守口門真・大東・八尾・松原商工会議所等と連携することによって、バイヤー事業所や売り込み事業所の参加拡大と相乗効果が見込まれる。								
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	150	総支援企業数(実績)	112	支援実績率	74.7%	満足度	88.1
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	年末コロナ禍での商談会開催で、大勢で開催することが困難な中、売込企業の参加申込ならびに商談希望をバイヤーに繋ぐことができた。同時に、バイヤー側も商談に繋がらない企業との商談を事前に減らすことができ、参加人数を限定することで商談会を開催することができた。その限られた商談では、売込企業やバイヤーより通常より濃い商談会となったとの感想が聞かされた。							
		代表指標	商談件数						
		数値目標	450	実績数値	321	目標達成度	71.3%		
	成果の代表事例	食品スーパーや卸売業が取り扱う、定番のポタージュのみではなく、イモを中心にカボチャ・雪ニンジン等、種類も豊富でバイヤーにとっては取引がし易かったと思われる。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	コロナウイルス感染拡大時期に入ろうとする時期であったため、参加申込も少なく、過去に参加していただいた事業所も今年は自粛するとの回答を多く聞かされた。 本年度は、コロナ禍の開催で今までやらなかった事前マッチングをしたことで、当日のバイヤーの感想は好評であり、商談会場の来場人数を抑えれたことが良かった。感染拡大が収まらなければ次年度以降も継続してまいりたい。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	120	支援企業数(実績)	91	支援実績率	75.8%	満足度	88.1
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	コロナ禍の開催となり、コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて毎年開催している時期より3ヵ月遅れで商談会を開催した。本年度の商談結果は、食品系の商談成立が多かった。また、商談成立には至っていない事業所からは、「今回の商談で商品改善などの手ごたえを掴んだ」「バイヤー担当者と話して流通の動向が知れ商品の改善に結びつく」など前向きな感想を聞いた。							
		指標	商談件数						
	数値目標	450		実績数値	321		目標達成度	71.3%	
その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度		
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	70.0%	満足度	76.2
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	プレゼン力向上セミナーを開催したところ、21名中17名が「自身のスキルアップにつながった」「習得知識を活用したい」との回答が得られ、今後の商談に活用できるセミナーとなった。							
		指標							
	数値目標			実績数値			目標達成度		
その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度		